

【訪問①】

文京区を5つのエリア（根津・千駄木、湯島・本郷、後樂園・春日、関口・目白台、小石川・白山・本駒込）にわけ、各エリアで2名ずつ留学生が活動しています。

年度内に3つの観光スポットを訪問する予定で、7月に1回目の訪問が行われました。

活動毎に提出されるレポートのうち、5名のリポーターの訪問レポートを紹介します！

（レポートは留学生が作成したものを原則そのまま掲載しています。）

根津・千駄木エリア

「ファーブル昆虫館」

東京のファーブル昆虫館は文京区千駄木にあります。この博物館は、昆虫の美しさと重要性を讃えることを目的として、アンリ・ファーブル会によって運営されています。昆虫の研究に生涯を捧げたフランスの昆虫学者、ジャン＝アンリ・ファーブルに敬意を表します。

2つの階に分けられた展示室では、世界中の蝶や甲虫の膨大なコレクションを紹介する展示が行われています。特筆すべきは、地下階にファーブルのフランス風の部屋のレプリカがあり、19世紀の雰囲気を垣間見ることができる点です。館内には昆虫の研究に特化した研究室もありますが、一般公開はされていません。知識豊富なスタッフが、子供たちや好奇心旺盛な人たちに最高の体験をさせてくれます。入館料は無料なので、気軽に見学することができます。



小石川・白山・本駒込エリア

「小石川植物園」

小石川植物園は、文京区の都会の街並みの中にある植物の楽園です。日本庭園のレイアウトに沿って植えられた大小数千の植物標本で構成されています。庭園には旧東京医学校本館もあります。その旧東京医学校本館の真向かいには美しい池があり、小さな石橋を渡ると鯉が泳いでいるのを見ることができます。この近くに来たら、ぜひ立ち寄りた場所です！



湯島・本郷エリア

「湯島天満宮（湯島天神）」

東京の中心部に位置し、東京大学のメインキャンパスから徒歩圏内にある湯島天満宮は、都会の喧騒から逃れられる隠れた名所です。千代田線湯島駅を利用するか、湯島三丁目に停車するバス（上 69 番と都 02 番）を利用するのが便利です。

神社はとても美しく魅力的で、緑豊かで丹念に手入れされた境内が、厳かな雰囲気を作り出しています。毎年春になると見事な梅が咲き誇り、湯島天満宮は素晴らしいお花見スポットとなり、東京都内から大勢の花見客が訪れます。毎年恒例の春まつりは有名で、伝統的な音楽や踊り、おいしい屋台料理で観光客を魅了します。

湯島天神は豊かな歴史があり、何世紀にもわたって周囲の街の変化や成長を見守ってきました。神社の静謐な美しさと活気ある春の祭りは、永続的な文化的伝統と自然の素晴らしさの証です。



後楽園・春日エリア

「東京ドーム」

東京ドームは、ユニークな建築デザインから「ビッグエッグ」というニックネームがつけられました。1988年に正式にオープンしました。55,000人を超える収容人数や高度な室内空調システムなど、特筆すべき特徴があり、これらの特徴により、スタジアムは悪天候に左右されることなく、一年中使用することができます。

東京ドームの誕生は、日本のスポーツ界にとって極めて重要な出来事であり、日本の野球文化の発展を象徴するものです。日本を代表する球団である読売巨人軍の本拠地として、東京ドームは多くの象徴的な選手たちの活躍を見守ってきました。日本のスポーツに対する根強い情熱の象徴でもあります。

また、球場内にある野球殿堂博物館では、野球ファンにとっては充実した体験ができます。館内には、伝説的な選手たちの功績と日本野球の豊かな歴史を称える、印象的な記念品のコレクションが展示されています。

球場に隣接する東京ドームシティは、広大な複合エンターテインメント施設です。東京ドームシティには、テーマパーク、ショッピング施設、レストランなどがあります。さまざまな体験ができる東京ドームシティは、訪れる価値のある施設です。



「東京カテドラル聖マリア大聖堂」

東京カテドラル聖マリア大聖堂の訪問は感動的でした。洗練された建物の外観に圧倒されました。内部は残念ながら写真撮影ができませんでしたが、美しい内装や精巧な彫刻に魅了されました。静寂な雰囲気が心を落ち着かせ、歴史的な重みと宗教的な厳粛さを実感しました。そして、ルルドの洞窟も印象的でした。ルルドは、フランス南部の小さな町でありながら、世界的な巡礼地として多くの人々を惹きつけています。聖母マリアの出現があった場所として知られ、巡礼者はその聖なる場所を訪れて信仰を深めます。ここは祈りの場としてそっくり作られており、信仰の意味深さがありつつ、芸術的な要素とも調和している印象です。訪れる価値があり、心に深い感銘を残しました。

